

藤が原通信

～親愛なるあなたへ～

第166号
社会福祉法人
親愛会
ケアステーション藤が原
令和8年1号

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のお祝いを申し上げます。旧年中は何かとご協力を賜り、誠にありがとうございました。

超高齢社会を迎え、当施設でも労働力不足は喫緊の課題です。外国人材の活躍促進、ICT機器の活用、生産性向上など、介護現場の働き方も変革が求められる中、昨年はタブレット機器を導入し、介護記録の充実・情報共有の効率化等を図りました。また、技能実習生4名が3年間の実習期間を無事満了し、「特定技能」として勤務を継続してくれることとなりました。さらに今年は新たに3名の技能実習生を迎える予定です。「直接的なケア」を担う人材の確保・育成と、「間接的業務」の効率化を図り、介護の質の向上と、多様化する介護ニーズへの対応に努めて参ります。

「直接的」といえば、夏祭りや敬老会、外出や外食など、ご家族や地域の皆様と直接交流する機会を多く持てたことは、ご利用者のみならず職員にとっても大変有意義な時間となりました。あらためて感謝申し上げますとともに、引き続き本年もご協力をお願いいたします。

「人生100年時代」これまでのそれぞれの暮らしを尊重しつつ、これからどう暮らしていきたいかという想いや夢を大切に、ご利用者の幸せな未来のため邁進してまいります。

末筆ながら、皆様にとってよい年となりますよう心より祈念し、新年の挨拶といたします。

ケアステーション藤が原
施設長 笹島 修

メリークリスマス

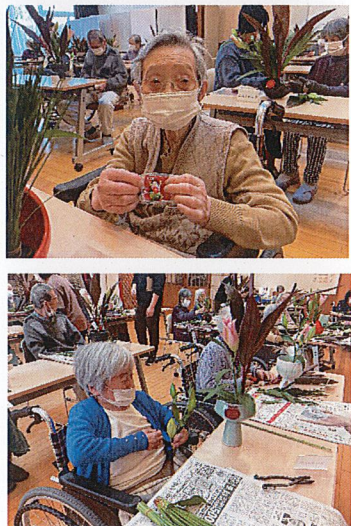


12月24日25日に、ユニットごとにクリスマス会を開催しました。昼食に特別メニューを楽しんだあと、サンタやトナカイに仮装した職員からプレゼントをお渡ししたり、クリスマスケーキを手作りしたりと、クリスマスを楽しみました。



生け花クラブ

12月29日 大王松、ユリ、ドラセナを使って、お正月のお花を活けました。参加されたご利用者全員に、先生からお正月飾りをプレゼントされ大変喜ばれていました。



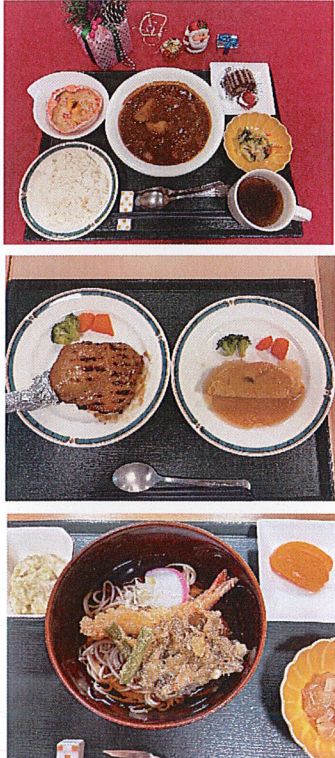
お正月花

生け花クラブ講師の内田岳峰先生にお正月花を活けていただきました。午年にちなみ「跳ね馬」をイメージした作品です。鈴木桂子先生にお手伝いいただき、大作が完成しました。書画は石井達也職員の作品です。



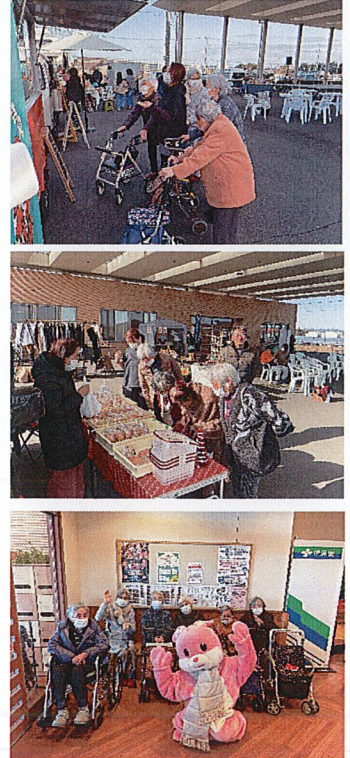
12月のお食事

12月は24日、25日の2日連続でクリスマス特別メニュー、忘年会のお汁粉や年越しそばなど、季節ならではのお食事をご利用しました。2枚目の写真は、「通常食」の骨付きローストチキンと「やわらか食」のチキンのテリーヌです。嚥下や咀嚼の状態でひとりにより食形態は変わりますが、見た目も味も楽しんでいただるように努めています。



藤が原マルシェ

12月13日「藤が原クリスマスマルシェ」を開催しました。ハンドメイドのアクセサリーの販売やワークショップ、キッチンカーでの飲食物の販売や、蕎麦打ちの実演、実食など多岐にわたる出店者がイベントを盛り上げてくれました。着ぐるみのキャラクターも2体登場し、ご利用者も子どもたちと一緒に大はしゃぎでした。



年末行事



12月26日 午前中は餅をつき、鏡もち作りを行いました。どちらもご利用者にアドバイスをいただきながら、無事終わることができました。午後からは忘年会を開催しました。「シルバーウィングス」のお二人に歌とギター演奏を披露していただき、大盛り上がりしたあとは、スライドショーを上映して1年の思い出を振り返りました。